

ふじみ町

公民館報

〒399-0211

長野県諏訪郡富士見町富士見 3597-1

コミュニティ・プラザ内 富士見町公民館

ホームページ：https://www.town.fujimi.lg.jp/site/kouminkan/

Eメール：kouminkan@town.fujimi.lg.jp

No. 731

令和6年 7/1

発行 富士見町公民館

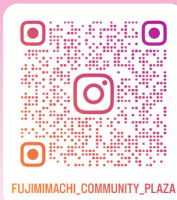
編集 公民館報編集委員会

TEL 0266(62)7900

FAX 0266(62)7611



公民館
Instagram



FUJIMIMACHI_COMMUNITY_PLAZA

コミ・プラ マスコットキャラクター
『ホッホ君』



地域へ飛び出した富士見高生

高原晴雨

なにか嫌な思いを発している真最中に痛い目にあって罰が当たったと思ったり、「連絡をとりたくない」とたびたび思っているとまさにその人から連絡が来たりして、ラッキーだけどもむしろつながりすぎていて怖いなどということがある。自分に起こる日々の些細な出来事と日常的に何気なく思っている内容を意識しながら暮らしてみると、そこはやはりリンク

人間の思考は犬猫のように単純ではない。想像力がさらに脳内でフィクションまで加えていき、高揚感から自滅感まで幅広い精神状態を体験できる。私たちは持て余すほどの諸刃の剣のような力を与えられているのだ。そして毎日毎日自分の思考パターンを無意識的に上塗りしながら自分の日常に喜怒哀楽で好きなように色付けしている。

ここでちょっと話がミクロの世界に飛躍するが、この世界に存在するものはすべて原子や電子のレベルで見ると、ざっくりいえば丸い小さな粒々でできていて、粒と粒の間隔もスカスカなのだそう。そしてその粒々に人間が意識を向けるだけで、その動き方に影響を与えてしまうらしい（これは量子物理学の『二重スリット実験』として知られている）。カタチを持たない自分の思いが実は自分の身体や周りのすべてのものに作用しているなんてすごいことだ。これも漫画や映画の世界だけの話ではなく、このリアルな世界で多くの人がまだ気づかず活かされていない能力なのだ。

今のざわついていて世界の流れは自分なんかには止められないと無力感とともにニュースを眺めてしまうこともあるけれど、まずは自分の中からいろいろ湧いてくる思いに客観的に意識を向けてみる。そして喜びや嬉しさやありがたみ、周りの美しさ、かわいいな大切だなと思う存在を思いながら、あたたかくなる気持ちをかき集めて出来るだけ心の中に響かせていよう。そんな心で静かに穏やかに世界を見つめて続けていたら...まずは自分の目の前の世界が変わっていくのだ。

岩田良子

目次

P2～3 【特集】 富士見高校探求学習活動
P4 図書館・博物館コーナー

富士見高校 探究学習活動

富士見高校の一、二学年普通科の生徒が「総合探究学習」として、地域の課題に取り組んだ令和五年度の活動成果を発表しました。生徒達が関心を持った課題や活動状況等を紹介します。

●一年生の活動概要

27人の生徒達が以下のテーマに取り組みました。

- ・竹林整備 12人
- ・福祉関連 9人
- ・農地関係 3人
- ・食関連 3人

竹林整備では、放置竹林の問題や被害を指摘し、竹の有効利用の必要性等が報告されました。福祉関係では、福祉施設での実体験から「仕事としてのやりがい」等が報告されました。また、農地見学・体験で感じた事や規格外野菜の活用法に関する提言等がありました。

●二年生の活動概要

39名の生徒が14のグループに分かれて活動した成果が報告されました。

①「遊休農地の活用法」

カゴメ野菜生活ファーム、みらい菜園、地域の出払いの見学等の体験から、高齢化や過疎化が進み「遊休農地の増加」「病虫害や雑草の繁殖」「ゴミの不法投棄」等の問題が起きており、「みんな農地にするしかないじゃない！」と提言しています。

②「干し柿を通じた保育園の子ども達との交流」

鳥獣被害を低減するための柿を取りきる（木に残さない）活動「猿柿合戦」で得た柿で、地域の方に教えてもらって美味しい干し柿作りに挑戦しました。今後は、干し柿で保育園児と交流する予定です。

③「サル対策と柿の有効活用について」

猿の被害を低減するためには

「柿の実を木に残さない」事が必要です。そこで、柿の活用法として、干し柿や柿ジャム作りを目指しています。さらに、若い人にも広く知ってもらうために、SNSやポスター掲示などで広報する予定です。

④「歴史を活かして地域の魅力を発信する」

諏訪の歴史の魅力を同級生や地域の人に伝えるための調査報告書を作成しています。今後は、信州歴史的まちなみフォーラムでの講演、漫画やパンフレットの作成に取り組み、情報を発信する予定です。

⑤「一家に一本竹酢液」

竹の有効利用法として竹灯りや日月等（竹製のケン玉）を製作しても、需要には限りがあるので、消耗品である竹酢を作って「地域のイベント等で販売する」「SNS等を活用して情報を発信する」事で需要の拡大を図る予定です。



↑
←日月(にちげつ)



⑥「竹の可能性と再利用への取り組み」

放置竹林や処理に困った竹を再利用することで、環境保全や困っている人の役に立つ活動をする予定です。具体的には「環境に良い」「雑草の繁殖を防ぐ」「砂利道などに敷くと足への負担が軽減する」等の効果がある竹チップやパウダーを製造して実証化する予定です。

⑦「竹で繋げる人々」

竹を通して地域の人と交流する事で「竹問題への関心を高める」「地域を活性化する」事を目指した活動に取り組みました。具体的には、竹の日月や竹灯りの製作、地域の出払いへの参加、

サマーチャレンジ（机ラボでの体験学習）を行いました。

⑧「放置竹林ハザードマップ」

放置竹林によって起こる災害を予防するために、ハザードマップを作成する予定です。また、伐採した竹で防災グッズを製作する事にも挑戦する予定です。

⑨「竹が作る日常」

竹で日用品を作る事で竹の有効利用促進を目指しています。簡単に量産が可能な数種類の日用品を作って安全性や実用性を評価し、文化祭等で紹介する予定です。

⑩「竹のイメージを変えるために」

放置竹林は周辺の住民に悪影響を与えるので、竹を利用した実用性のある物を作って普及を図り「竹の悪いイメージ」を変える活動を進めています。具体的には、子ども達が喜ぶ「竹の日月」を製作して「保育園への配布」「文化祭での販売」を行い

ました。今後は、活動を通して見つかった課題の解決に取り組む予定です。

⑪「竹林問題を中心に竹灯りにフォーカス」

竹林問題を解決するために竹灯りを製作し、その需要を増やす活動をしました。これまでの活動で、竹灯りは長期保管中に「竹が割れる。カビが生える」「完成品の魅力に乏しい」等の課題が見つかり、今後は「今まではない高品質な竹灯り」の製作を通して、竹灯りの知名度向上と普及に繋げる予定です。



⑫「日月と放置竹林」

放置竹林を整備し防災意識を高めるためには伐採した竹の有効利用が効果的と考え、日月を

製作して子ども達に遊んでもらいました。その結果「放置竹林問題を知っている人は少ない」「竹は重くて作業中に怪我の心配がある」「日月遊びでは、想定とは事なる遊び方をする人がいる」「日月に利用できない端材がゴミになる」等の課題が見つかりました。今後は、課題を解決するために「日月の改良」「日月のイベント等での紹介」に取り組む予定です。

⑬「ケガをしないための日月の作り方と遊び」

放置竹林問題を解決するために、竹の有効利用法として、日月を製作して「保育園に紹介」「文化祭で販売」を行ないました。今後は、日月を更に改良して、地域の方々との交流を促進する予定です。

⑭「日月を地域に広げるために」

竹の日月を知っている人は少ないので、その魅力を発信するための活動に取り組みました。日月を製作して福祉施設で紹介したが、普及のためには品質の

向上が不可欠である事が分りました。今後は日月の軽量化等の改良を加え、イベント等で紹介する予定です。



おわりに

富士見高校の総合探究発表会は、高校生が地域の課題に真摯に向き合って活動している様子に、心から敬意を表したいと思わせる内容でした。本活動は今年度も継続中であり、町民の協力・支援が期待されています。

涼風コンサート2024

- ◆日 時：①7/20(土)、②7/21(日)
 - ◆時 間：①19時～、②18時～ それぞれ1時間程度
 - ◆コミュニティ・プラザ ロビー
 - ◆ラインナップ
- ①伊東美紀さん(フルート)&飯島未来(ピアノ) ②富士見中学校 合唱部



図書館 博物館 コーナー

☎62-7930(図書館・博物館)

新着おすすめ Book

★電話・webまたはカウンターでご予約ください

「控えよ小十郎」小説 佐藤 巖太郎 著

秀吉の逆鱗に触れ、家康には妬まれる。「天下人」たちに恐れられた奥羽の王、伊達政宗。

その政宗を支えた片倉小十郎は、秀吉、家康の家臣にと乞われた奥羽随一の知将だった。

身分の差を乗り越えて、己の持つ智と力、すべてを政宗に捧げた男が、最後に辿りついた境地とは。

おはなし会(火曜日)

7月 2日 七夕工作 午前11時～
9日 のりもののおはなし会(救急車)
16日 休館日
30日 海のおはなし・誕生会

おはなし会(土曜日)「ふじみ子どもの本の会」ほか

7月 6日 七夕のおはなし 午前11時～
13日 のりもののおはなし
20日 夏のたべもののおはなし
27日 夏のおはなし

●8月6日(火) 夜のこわ～いおはなし会

時 間：午後7時15分～7時45分
会 場：富士見町図書館
内 容：閉館後の図書館でこわ～い絵本の読み聞かせ
申 込：事前申込みが必要です
対象は小学生以下 20名 ※送迎は保護者が行ってください

図書館

- 開館時間／通 常・・・午前9時30分～午後6時
火曜日・・・午前9時30分～午後7時
- URL <https://www.town.fujimi.lg.jp/site/library1/>
- 白抜き・・・休館日 ★印・・・イベント実施日 □・・・20冊貸出

	日	月	火	水	木	金	土
7月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			
8月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31



富士見町図書館HP

図書館イベント

●7月23日(火) 夏の図書館まつり

時 間：午前11時00分～
会 場：コミュニティ・プラザ 2階大会議室
内 容：パネルシアター「いけ！大漁丸」
エブロンシアター「くいしんぼゴリラ」
ミニイベントもあるよ！
申 込：不要

●8月4日(日) 科学のとびら②

「木のランプシェードを作る」

時 間：午前10時00分～正午
会 場：コミュニティ・プラザ 2階 大会議室
対 象：親子15組(お子さまは1組2名まで)
申 込：電話(☎62-7930)にてお申込みください。
参加費：無料
問合せ：富士見町図書館 電話62-7930



『後藤 吉久が描く絵と物語 ～ボクのひみつの森～』

期間：7月5日(金)～8月25日(日)

岡谷市出身の後藤吉久氏のアート作品を展示します。『ボクのひみつの森』という物語は少年の心の奥底にある森が成長していくお話です。今回のテーマは『心の森』です。ゆっくりと物語を読みながら作品をご覧ください。



博物館

- 場 所 富士見町高原のミュージアム(コミ・プラ2階)
- 開館時間 午前10時～午後5時(入館 午後4時30分まで)
- 休 館 日 月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)

- 入館料 大人 300円、子ども150円
諏訪地域の小中学生は無料

⇒右の招待券を切り取ってお持ちください。
町内1家族まで無料にてご覧いただけます。

博物館企画展
招待券